

衆議院議員 元秘書
1973年3月16日生まれ
中央大学法学部卒 / 青山学院大学大学院
法学研究科 修士課程修了
1、3歳児、大学生、大学院生4人の子育て
で真っ最中 夫(弁護士)

区議会レポート

春の光に包まれて遊ぶ子ども達の姿にほっとする今日この頃。
小鳥のさえずる音色もひととき美しく聞こえる季節となりました。
新型コロナウイルス感染予防のために手洗い、洗顔しっかりとていしましょう。



成果報告

母子支援事業が 拡充されます!

産後ケアサービス型
今夏より開始予定



第1弾「産後ケアの通所」始まる

昨年6月、「子どもを産み育てやすい新たな制度を求める請願」の取りまとめを行い、新たな支援事業が始まることになりました。

経過

2019年5月の区議選後、子育てママ達みずから子育て支援を考え、制度化を働きかける「あったか足立区Neoを創る会」を立ち上げました。

そして6月には待機児童・子ども支援調査特別委員会に「子どもを産み育てやすい新たな制度を求める請願」を提出。この請願書を基に、新たな母子支援事業を求め、政策提案・推進を強力に推し進めてきました。



～皆さんご存知? 足立区は何と!～

母子支援事業における子育て支援 東京23区でワースト1!?

足立区は妊娠期から出産期にかけての支援事業は他区よりも出遅れています。産後ケア事業やネウボウ事業が全くなく、今年度まで足立区は国や都の子育て施策の補助事業に手をあげていませんでした。手を挙げていなかったのは港区と足立区のみ。

港区は自主財源で手当が厚く、不妊治療の補助金を用意し5年でトータル150万円の支給。出産費用の助成も最高60万円まで支給しており、妊婦に対するコミュニティバスの無料乗車券も発行しています。手当が厚い港区とは歴然の差です。東京23区でワースト1といっても過言ではありません。足立区の多くのお母さんやお父さん達は妊娠期から出産期までの新たな支援を強く求めており、請願に賛同した方は1240名にのぼりました。

『妊娠・出産・子育て応援』足立区版 子ども家族のための 『切れ目ない家族支援』を!

この請願の紹介議員となった長谷川たかこは、議会でも子育て支援拡充の旗振り役として議論に参加。その結果2020年夏以降、母子新支援事業として「産後ケアサービス型」が開始されることになりました。

- 事業内容 母乳ケア・育児相談・母親の休息
(赤ちゃんはお預かり、お母さんに対するお食事付き/別途料金)
- 費用 1回500円
- 時間 10時から15時を予定
- 場所 区内1か所
- 対象者 1日3組程度 産後4か月未満の母子を対象

この事業はまだ途上であり、実態にあう施策をこれからも提案していきます。例えば、対象年齢を生後4か月未満から1歳まで引き上げるなど、改善と拡充の余地があります。近年の晩婚・晩産化・核家族化が進んでいる中で、出産後間もないお母さんたちは体が疲弊しています。そこに待ったなしの育児。授乳や寝不足の日々で、乳腺炎になってしまうお母さんたちが多くいるのが現状です。長谷川たかこは当事者であるからこそ、その苦しさ大変さがよくわかります。将来的には区内全域に安価で母乳ケアが受けられ、母親の休息が取れる施設を足立区全域に広げることにも視野に活動していきます。



Manifesto Awards

早稲田大学 マニフェスト研究所
マニフェスト大賞

- 第5回 最優秀政策提言賞 「行政街づくりへのユニバーサルデザインの導入」
- 第12回 優秀政策提言賞 「生きづらさを抱えた人」に対する支援事業の構築
- 第13回 優秀政策提言賞ノミネート 「妊娠・出産・育児等と働き方の両立支援」

長谷川たかこの政策提言が全国トップレベルの取り組みとして進んでいます!

子育て中のお母さん・お父さんの声をしっかり区政へ。

支援拡充策 第2弾「産後ケア宿泊型」を！

産後ケアの宿泊代、通常価格は1泊3万円です。他の自治体では補助が出てお母さんの負担は1日3000円。国や都の補助金に手を挙げていないこと、区の予算でも計上していないことから、足立区のお母さんたちは通常価格です。足立区のお母さんの身体も財布も楽になるよう、次は産後ケア宿泊型の拡充を議会へ斬り込んでいきます！



長谷川たかこは足立区のお母さんのひとりとして、子育て支援事業の拡充を強く訴え、もっと出産したいと思える環境をつくり、足立区をこれからも変えていきます！

ご意見・ご要望は…

長谷川たかこ

活動や政策の詳細はホームページをご覧ください

<https://takahase.weblogs.jp>

ご意見・ご要望はEメールへ
info@takahase.com



このレポートは、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構*のアドバイスのもと、色覚の個人差を問わずご覧いただけるようカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しました。(ロゴやイラストは対象外)
*カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)とは、色覚バリアフリー/カラーユニバーサルデザインへの配慮を啓発する活動を行うことを目的に2004年に設立されたNPO法人です。

お母さんと赤ちゃんにやさしい足立区を

お母さんの心に余裕が生まれる仕掛け創りが大切！ ～お母さん自身が赤ちゃんに愛情深く、強い存在になりますように～

育児のスタートアップ期に母子ともに適切な愛情とケアを受けられれば、母親の心に余裕が生まれ、赤ちゃんに対する愛着形成が強く築かれます。

妊娠期から出産・育児と頑張っているお母さんたちのためにも、支援拠点を足立区全域に設置し、さらに他区にある産後ケア宿泊施設をお母さん達が出産後、すぐに使える新たな制度の構築に向けて、全力を期していきます。

安心して2人目3人目そして4人目を産みたいと心から思える環境を長谷川たかこは全力で構築していきます！

～ぜひ、皆さん応援してください！～

子どもを産み育てる
お母さんたちに
優しい足立区をつくります